

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 北海道横断自動車道網走線 足寄～北見 <small>あしよろ きたみ</small>	事業区分 高速自動車 国道	事業 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道中川郡本別町西仙美利 <small>なかがわ ほんべつ にしせんびり</small> 至：北海道北見市北上 <small>きたみ きたかみ</small>	延長 79.0km	
事業概要 北海道横断自動車道は、黒松内町を起点に、根室市・網走市へ至る延長約694kmの高速自動車国道である。このうち北海道横断自動車道足寄～北見は、本別ジャンクションから分岐し、網走市に至る網走線の一部を構成し、足寄インターチェンジから北見インターチェンジに至る延長79kmの事業で、国土・地域ネットワークの構築により、オホーツク圏と道央圏の連携強化を図り、物流の効率化や個性ある地域の形成に寄与する道路である。		
H15年度事業化 全体事業費 1,072億円		
H一年度都市計画決定 事業進捗率 4%		
H17年度用地着手 供用済延長 0.0km		
H18年度工事着手		
計画交通量 3,300～3,400台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 860/907億円 (事業費：723/771億円) (維持管理費：136/136億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 972/972億円 (走行時間短縮便益：773/773億円) (走行経費減少便益：141/141億円) (交通事故減少便益：58/58億円)
基準年 平成20年		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.2(交通量+10%) B/C=1.0(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.0(事業費+10%) B/C=1.2(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.0(事業期間+2年) B/C=1.3(事業期間-2年)		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構築する） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構築する） ・物流の効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） 他8項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 地域間の均衡ある発展と生活領域の拡大を図るため、帯広市をはじめとする1市16町2村の首長等で構成される北海道十勝圏活性化推進期成会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成15年度に北海道横断自動車道の池田インターチェンジ～本別インターチェンジ、本別ジャンクション～足寄インターチェンジが供用。 ・平成18年に北海道ちほく高原鉄道ふるさと銀河線が廃止		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成18年度に工事着手して、用地進捗率7%、事業進捗率4%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、緊急に整備すべき区間について、平成20年代後半の暫定2車線本線工事完了を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 橋梁形式の見直しなど、コスト縮減対策に取り組んでいる。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。